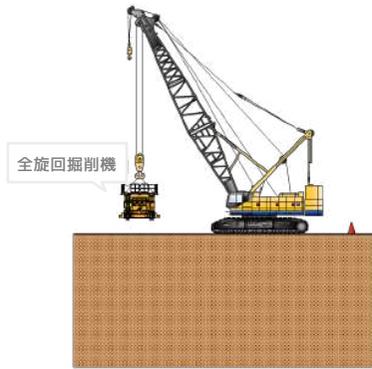


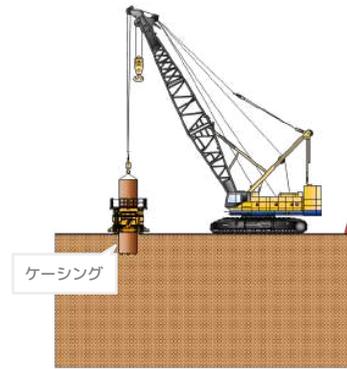
CD工法

① 掘削機据付



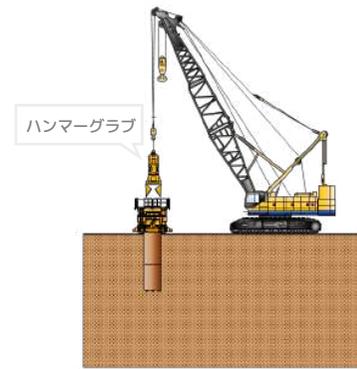
掘削機の据付けは不陸の無い様に整地する。
掘削機はクレーンにて移設し、
杭芯を合わせズレが無い様に充分注意する。

② ケーシング先行切削圧入



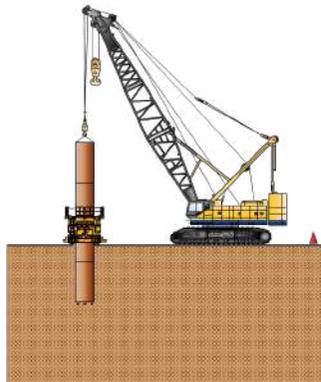
掘削機据付け後、ファーストチューブの
建込みを行いケーシングを徐々に回転させ、
鉛直を確認しながら押込む。
ケーシングの先行切削圧入により、
障害物と地山の縁切りを行う。

③ 障害物撤去



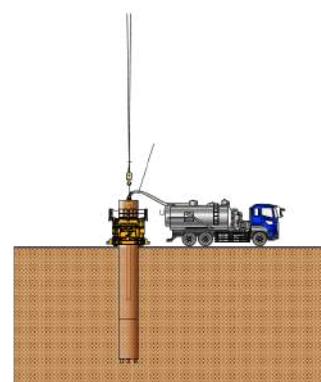
掘削・障害物排土は、ハンマーグラブを
装着したクレーンにて行う。

④ ケーシング継足し



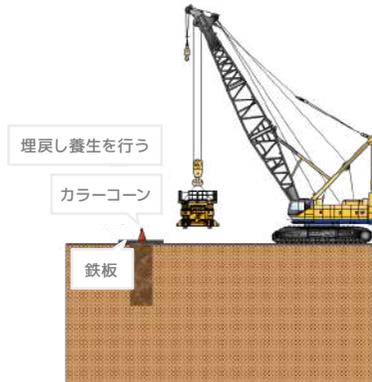
ケーシングが押込まれていくに従い、
随時ケーシングを継足す。

⑤ 埋戻し、ケーシング引抜き



既存杭の撤去がある場合はトレミー管を
建込み、流動化処理土を打設する。
流動化処理土の打設及び、
ケーシングの引抜きを順次繰り返す。

⑥ 掘削機移設



埋戻し及びケーシング引抜き完了後、
クレーンにて掘削機を次の杭芯まで移設する。